

II . NCD 呼吸器外科分野 2 階構想 (最終版)

NCD 呼吸器外科分野 2 階構想

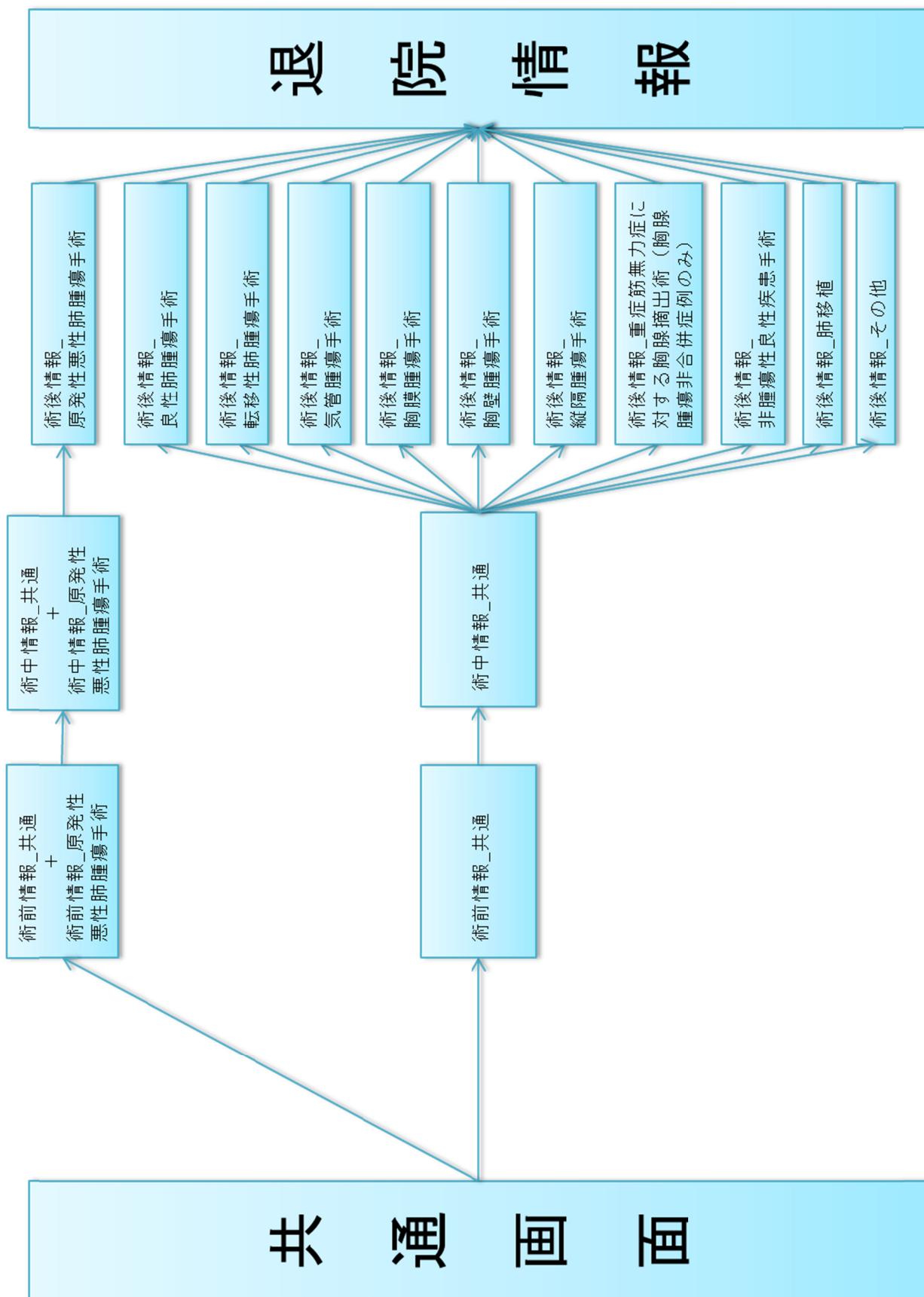
最終版

2013/11/28

術前情報画面（手術日の次）に呼吸器外科手術分類を追加し、選択した項目によって画面に表示される項目を変更する。

呼吸器外科手術分類	良性肺腫瘍手術例		治療を目的としたもの	
	原発性悪性肺腫瘍手術	肺癌 肉腫 AAH リンパ腫 その他		
	転移性肺腫瘍手術例			
	気管腫瘍手術例			
	胸膜腫瘍手術例			
	胸壁腫瘍手術例			
	縦隔腫瘍手術例			
	重症筋無力症に対する胸腺摘出術（胸腺腫瘍非合併症例のみ）			
	非腫瘍性良性疾患手術例（気胸・膿胸など）			
	肺移植			
	その他（外科的生検など）			診断を目的としたもの
	呼吸器外科手術領域対象外			スtent、気管切開等 外科専門医共通項目のみ入力する
注：複数選択可				
胸部外科学術報告書は1手術につき、1症例の申請なので、どの項目を申請するか選択できるようにする。				
小児手術（15歳未満）（該当するときのみ自動的にチェック） *表示なし				

選択後の画面遷移図



：択一の項目です。該当するものを1つだけ選択。：複数選択の項目です。該当するものすべてを選択。
 数値入力については、指定があるものは小数点以下も入力可。また、整数値のみの入力も可とする。

身長	. cm	未測定	最大値は 250	
体重	. kg	未測定	最大値は 250	
BMI	_____	自動計算		
PS	<p>PS0 全く問題なく活動できる。発病前と同じ日常生活が制限なく行える。</p> <p>PS1 肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で軽作業や座っての作業は行うことができる。例：軽い家事、事務作業</p> <p>PS2 歩行可能で、自分の身の回りのことはすべて可能だが、作業はできない。日中の 50%はベッド外で過ごす。</p> <p>PS3 限られた自分の身の回りのことしかできない。日中の 50%以上をベッドが椅子で過ごす。</p> <p>PS4 全く動けない。自分の身の回りのことは全くできない。完全にベッドが椅子で過ごす。</p> <p>不明</p>			
呼吸機能_VC	_____	mL (10 ~ 9999 まで入力可)	未測定	
呼吸機能_%VC	_____	% (自動計算、表示のみ、呼吸機能_VC/予測 VC*)		
呼吸機能_FVC	_____	mL (10 ~ 9999 まで入力可)	未測定	
呼吸機能_FEV ₁	_____	mL (10 ~ 9999 まで入力可)	未測定	
呼吸機能_1 秒率	_____	% (自動計算、表示のみ、呼吸機能_FEV ₁ /FVC)		
呼吸機能_%FEV ₁	_____	% (自動計算、表示のみ、呼吸機能_FEV ₁ /予測 FEV ₁ *)		
術前併存症	なし			
	あり	詳細	肝機能障害 (Child-Turcotte 分類 B 以上) 人工透析あり 間質性肺炎 (CT で明らかな所見)	
			虚血性心疾患	インターベンション治療あり (CABG 含む) 治療適応がある冠動脈疾患
			5 年以内の他の悪性疾患の治療 脳神経疾患 or 脳血管障害	
			糖尿病	食事療法のみ 経口治療薬服用あり インシュリン投与あり 治療なし
		貧血 (Hb 8.0) 自己免疫疾患 (治療歴あるもの) 不整脈 (治療中) その他		
喫煙指数	0	軽度 : 200 未満	術前禁煙期間 30 日以上	

：択一の項目です。該当するものを 1 つだけ選択。 ：複数選択の項目です。該当するものすべてを選択。
数値入力については、指定があるものは小数点以下も入力可。また、整数値のみの入力も可とする。

	中等度：600 未満 重度：600 以上 不明	術前禁煙期間 30 日未満
術前導入療法 *ただし、以下の項目を選択した場合のみ ・ 原発性悪性肺腫瘍手術 ・ 転移性肺腫瘍手術例 ・ 気管腫瘍手術例 ・ 胸膜腫瘍手術例 ・ 胸壁腫瘍手術例 ・ 縦隔腫瘍手術例	施行せず 化学療法のみ 放射線療法のみ 化学療法 + 放射線療法 その他	

画面：術中情報_共通へ

計算式

【男性】

$$\text{予測 VC (L)} = 0.045 \times \text{身長 (cm)} - 0.023 \times \text{年齢} - 2.258$$

$$\text{予測 FEV}_1 \text{ (L)} = 0.036 \times \text{身長 (cm)} - 0.028 \times \text{年齢} - 1.178$$

【女性】

$$\text{予測 VC (L)} = 0.032 \times \text{身長 (cm)} - 0.018 \times \text{年齢} - 1.178$$

$$\text{予測 FEV}_1 \text{ (L)} = 0.022 \times \text{身長 (cm)} - 0.022 \times \text{年齢} - 0.005$$

日本呼吸器学会肺生理専門委員会（2001 年）の規定による

呼吸器外科手術分類で【原発性肺悪性腫瘍手術】の【肺癌】を選択した場合は以下の項目も登録する

画面：術前情報_原発性肺悪性腫瘍手術

肺同時多発	なし	あり
-------	----	----

同時多発肺癌を一回で手術した場合 最も進行したものについてのみお答えください。

最大腫瘍径	. cm	測定不能	最大値は 50
c-T *T1a, T1b を選択した場合は最大腫瘍径とのチェックを行う。 **T2a, T2b, T3 で大きさを選択した場合は最大腫瘍径とのチェックを行う。	T1a* (2cm 以下) T1b* (2cm より大きく 3cm 以下)		
	T2a		T2 理由 大きさ** (3cm より大きく 5cm 以下) 主気管支、気管分岐部より 2cm 以上 無気肺 (一側肺全体には及ばない) PL1、PL2、葉間 PL3
	T2b		T2b 理由 大きさ** (5cm より大きく 7cm 以下) 主気管支、気管分岐部より 2cm 以上 無気肺 (一側肺全体には及ばない)
	T3		T3 理由 大きさ** (> 7cm) 心嚢浸潤 胸壁浸潤 気管分岐部より 2cm 未満 横隔膜浸潤 無気肺 (一側肺全体) 横隔神経浸潤 同一肺葉 縦隔胸膜浸潤
	T4		T4 理由 縦隔浸潤 食道浸潤 心臓浸潤 椎体浸潤 大血管浸潤 気管分岐部浸潤 気管浸潤 同側他肺葉 反回神経浸潤
	Tx	T0	Tis
c-N	N0 N1 N2		
	N3		N3 理由 対側縦隔 対側肺門 鎖骨上窩・前斜角筋
	Nx		

：択一の項目です。該当するものを1つだけ選択。 ：複数選択の項目です。該当するものすべてを選択。
数値入力については、指定があるものは小数点以下も入力可。また、整数値のみの入力も可とする。

c-M	M0									
	M1a			理由		対側肺 胸膜播種		悪性胸水 悪性心嚢水		
	M1b			理由		脳 骨 肝 副腎 皮膚		頸部 L N 腋窩 L N 腹腔 L N 腹膜 その他		
	Mx									
c-stage	0	A	B	A	B	A	B	不確定	潜伏癌	

画面：術中情報_原発性肺悪性腫瘍手術へ

ステージに関しては22ページ御参照

手術責任者 術者助手の後に表示	氏名登録 (pull down) *登録した術者、助手の中から選択する。				
両側性の疾患に対する 手術で左右別々に1回 の手術で行われた症例	なし	あり	*なしにチェックしておく		
胸腔鏡使用(併用含む)	なし	あり(注:縦隔鏡・ロボット含む)			
手術時間	時間	分	*1時間未満の時は時間に0を入力する。		
出血量	ml	微量(10ml以下)			
自動縫合器使用本数	本				
生物組織学的接着剤	使用なし	使用あり			
超音波凝固切開装置等	使用なし	使用あり(注:ベッセルシーリングシステム含む)			
体外循環(注:ECMO含む)	使用なし	使用あり			
術中輸血	輸血なし 輸血あり (献血血 自己血)				
術中損傷 (術中に判明した予期 せぬ損傷で外科的修復 が必要なもの、術後に 判明したものは術後合 併症に入れる)	なし				
	あり	詳細	大動脈 肺動脈 心臓 下大静脈	肺静脈 上大静脈 腕頭動静脈 その他の血管	気管 食道 横隔膜 その他
気管・気管支形成術*	なし				
	あり	詳細	気管形成術		
			管状切除端々吻合術 ウェッジ切除単純閉鎖術 ウェッジ切除パッチ閉鎖術 喉頭全摘永久気管瘻 その他(不明含む)	詳細:	
		分岐部再建術 スリーブ・ウェッジ肺全摘除術 スリーブ・ウェッジ肺葉切除術 スリーブ・ウェッジ肺区域切除術 肺切除を伴わない気管支形成術 その他	詳細:		

肺切除*	なし			
	あり		詳細	肺部分切除術 肺区域切除術
リンパ節郭清*	なし	あり	不明	
	肺葉切除術（2葉含む） 肺全摘除術			

画面：呼吸器外科手術分類で選択した術後情報へ

*気管・気管支形成術、切除肺範囲、リンパ節郭清については【原発性肺悪性腫瘍手術】を選択した場合は表示しない。

呼吸器外科手術分類で【原発性肺悪性腫瘍手術】を選択した場合は以下の項目も登録する

画面：術中情報_原発性肺悪性腫瘍手術

同時多発腫瘍を一回で手術した場合 最も進行したものについてのみお答えください。

切除部位	右		上	中	下	全*	*『全』を選択時は 1つのみ選択可とする
	左		上	下	全*		
気管・気管支のみ							
術式	肺部分切除術						
	肺区域切除術						
	肺葉切除術（2葉切除含む） *2葉切除した場合は合併切除部位をありにして、「他肺葉葉切除」を選択してください。						
	うちスリーブ・ウエッジ (該当するときのみチェック)						
	うちスリーブ・ウエッジ (該当するときのみチェック) うち分岐部再建術 (該当するときのみチェック)						
	肺全摘除術 胸膜肺全摘除術 (該当するときのみチェック)						
肺切除を伴わない気管・気管支形成術 *切除部位で気管・気管支のみを選択していること その他の気管・気管支形成術							
その他			詳細：				
アプローチ	開胸のみ（直視のみ） *共通部分の胸腔鏡使用との整合性チェックを行う。						
	胸腔鏡使用あり（補助を含む）		開胸コンバートあり (該当するときのみチェック)			ポート数 (カメラポートを含む)	
	胸腔鏡併用（直視併用） 完全胸腔鏡下(モニター視のみ)						
ロボット							
最大創の長さ	cm *最大値 50						
肺尖部胸壁浸潤	なし	あり					

：択一の項目です。該当するものを1つだけ選択。：複数選択の項目です。該当するものすべてを選択。数値入力については、指定があるものは小数点以下も入力可。また、整数値のみの入力も可とする。

【原発性肺悪性腫瘍手術】の【肺癌】を選択した場合は以下の項目も登録する

リンパ節郭清度	ND0		ND2a-2		ND3
	ND1a		ND2b		ND3
	ND1b		ND3		不明
	ND2a-1				
洗浄細胞診	施行せず	施行			
根治度	完全切除	非完全切除	判定不能		
合併切除部位	なし				
	あり		詳細	大動脈 上大静脈 腕頭静脈のみ 心膜 肺動脈 左心房	横隔膜 壁側胸膜 胸壁 (第1肋骨除く) 胸壁(第1肋骨)

画面：術後情報_原発性肺悪性腫瘍手術へ

術後合併症 (30日以内)	なし				
	あり		詳細	肺泡癭（7日以上） 気管・気管支癭 無気肺（BF 施行あり） 不整脈（要治療） 肺炎（注1） 膿胸（要ドレナージ） 反回神経麻痺 （術後嘔声を含む） 乳び胸（注2） 間質性肺炎（急性増悪） 術後出血（要輸血） 肺血栓塞栓症	呼吸不全（注3） 腎不全（注4） 心不全（注5） 肝不全（要治療） 心筋梗塞 脳梗塞 脳出血 再手術（24時間以内） 精神症状（注6） 創部膿瘍（要ドレナージ） 縦隔炎（要ドレナージ） その他

（注1）肺炎 感染兆候の増悪を伴うX p , C Tにおける肺野浸潤陰影の出現

（注2）乳び胸：絶食、低脂肪食などの治療を必要とする

（注3）呼吸不全： 再挿管・気管切開・術後48時間を超える人工呼吸器補助

（注4）腎不全：血液灌流透析治療を要する、またはクレアチニンが術前値の倍以上に上昇するか 4mg/dL より上昇したとき

（注5）心不全：カテコラミンを必要とした場合

（注6）術後抗精神病薬を要したもの

種類	肺過誤腫 硬化性血管腫 乳頭腫 気管支粘液腺腫 線維腫 脂肪腫 神経原性腫瘍 淡明細胞腫 平滑筋腫 軟骨腫 顆粒細胞性筋芽腫 偽リンパ腫 組織球腫 奇形腫		
	その他		疾患名：

呼吸器外科手術分類で【原発性肺悪性腫瘍手術】の【肺癌】を選択した場合

同時多発肺癌を一回で手術した場合 最も進行したのものについてのみお答えください。

組織型（病理所見）	腺癌 扁平上皮癌		
	大細胞癌		うち LCNEC（該当するときのみチェック）
	小細胞癌 腺扁平上皮癌 多形，肉腫様あるいは肉腫成分を含む癌 カルチノイド 唾液腺型癌 分類不能癌 同時多発癌 同時多発の「あり」の時に自動的に選択されていることをチェック		
	その他		詳細：
最大腫瘍径 （病理所見）	. cm	測定不能	最大値は 50
p-T *T1a,T1b を選択した場合は最大腫瘍径とのチェックを行う。 **T2a,T2b,T3 で大きさを選択した場合は最大腫瘍径とのチェックを行う。	T1a*（2cm 以下） T1b*（2cm より大きく 3cm 以下）		
	T2a	T2 理由	大きさ**（3cm より大きく 5cm 以下） 主気管支、気管分岐部より 2cm 以上 無気肺（一側肺全体には及ばない） PL1、PL2、葉間 PL3
	T2b	T2 理由	大きさ**（5cm より大きく 7cm 以下） 主気管支、気管分岐部より 2cm 以上 無気肺（一側肺全体には及ばない）
	T3	T3 理由	大きさ**（>7cm） 心嚢浸潤 胸壁浸潤 横隔膜浸潤 横隔神経浸潤 縦隔胸膜浸潤 気管分岐部より 2cm 未満 無気肺（一側肺全体） 同一肺葉
	T4	T4 理由	縦隔浸潤 心臓浸潤 大血管浸潤 気管浸潤 反回神経浸潤 食道浸潤 椎体浸潤 気管分岐部浸潤 同側他肺葉
Tx	T0	Tis	

p-N	N0		N1		N2				
	N3		N3 理由	対側縦隔 対側肺門 鎖骨上窩・前斜角筋					
	Nx								
p-M	M0								
	M1a		M1a 理由	対側肺 胸膜播種		悪性胸水 悪性心嚢水			
	M1b								
	Mx								
p-stage	0	A	B	A	B	A	B	不確定	潜伏癌
術中洗浄細胞診 *洗浄細胞診「施行」 の時のみ表示	陰性		陽性		判定不能（悪性疑い）				

画面：退院情報へ

ステージに関しては 22 ページ御参照

原発巣	大腸		
	肝・胆・膵		
	子宮		
	乳腺		
	卵巣		
	精巣		
	腎臓		
	骨		
	軟部		
	耳鼻咽喉領域		
	肺（肺癌再発を含む）		
	その他		詳細：

画面：退院情報へ

種類	原発性悪性腫瘍		組織型	扁平上皮癌		
				腺様嚢胞癌		
				粘表皮癌		
				その他		詳細：
	転移性・浸潤性悪性腫瘍					
	気管良性腫瘍		組織型	乳頭腫		
				腺腫		
				神経線維腫		
			軟骨腫			
			平滑筋腫			
			その他		詳細：	

画面：退院情報へ

画面：術後情報_胸膜腫瘍手術

組織型分類	びまん性悪性胸膜中皮腫	術式	胸膜肺全摘除術 胸膜切除/剥皮除 (P/D; pleurectomy/decortication)		
			その他		詳細：
	solitary fibrous tumor 限局性悪性胸膜中皮腫				
	その他		詳細：		

画面：退院情報へ

画面：術後情報_胸壁腫瘍手術

種類	原発性悪性腫瘍 転移性悪性腫瘍 良性腫瘍
----	----------------------------

画面：退院情報へ

種類	胸腺腫瘍		重症筋無力症の合併あり 重症筋無力症の合併なし	術式 1 へ
	胸腺腫 胸腺癌 胸腺神経内分泌癌（カルチノイドを含む） 胚細胞性腫瘍（良性（奇形腫を含む）） 胚細胞性腫瘍（悪性） 胸腺腫播種再発切除（胸腺腫手術と同時に行ったものは除く） 悪性リンパ腫 悪性リンパ腫以外のリンパ系腫瘍（リンパ管腫も含む） 脂肪腫（良性） 脂肪腫（悪性） 嚢胞			
	その他（良性）		詳細：	
	その他（悪性）		詳細：	
	胸腺腫瘍以外の縦隔腫瘍			術式 2 へ
	甲状腺腫（良性） 甲状腺腫（悪性） 神経性腫瘍（良性） 神経性腫瘍（悪性） 悪性リンパ腫 悪性リンパ腫以外のリンパ系腫瘍（リンパ管腫も含む） 嚢胞性病変（心膜嚢胞・心膜憩室） 嚢胞性病変（気管支原性嚢腫・消化管原性嚢腫）			
	その他（良性）		詳細：	
	その他（悪性）		詳細：	
術式 1	腫瘍亜全摘 腫瘍摘出術 単純胸腺摘出術 拡大胸腺摘出術			
術式 2	腫瘍亜全摘 腫瘍摘出術			

手術アプローチ	胸骨正中切開 肋間開胸			
	胸腔鏡補助下の肋間開胸 完全胸腔鏡下 ロボット		開胸コンバートあり (該当するときのみチェック)	
	その他		詳細：	
合併切除臓器	なし			
	あり		詳細	大動脈 上大静脈 腕頭静脈のみ 心膜 肺動脈 左心房 横隔膜 胸壁(肋骨・胸骨) 胸膜・胸壁 椎体(肋骨を含む) 食道 肺 その他

画面：退院情報へ

画面：術後情報_重症筋無力症に対する胸腺摘出術(胸腺腫瘍非合併症例のみ)

術式	単純胸腺摘出術 拡大胸腺摘出術			
手術アプローチ	胸骨正中切開			
	肋間開胸		片側	両側
	胸腔鏡補助下の肋間開胸		片側	両側
	完全胸腔鏡下		片側	両側
	ロボット		片側	両側
その他		詳細：		開胸コンバートあり (該当するときのみチェック)

画面：退院情報へ

種類	炎症性肺疾患に対する肺手術	種類	肺結核 非結核性抗酸菌症 肺真菌症 気管支拡張症	注)感染症(血痰、喀血など)の治療のためにおこなったもののみ
			結核腫 炎症性偽腫瘍 肺内リンパ節	注)腫瘍疑いで手術したもののみ
			その他	
	膿胸	種類	急性膿胸	
			有瘻性 無瘻性 不明	
			慢性膿胸	
			有瘻性 無瘻性 不明	
			不明	
	下行性壊死性縦隔炎に対する手術			
	嚢胞性肺疾患手術(気胸以外)	種類	気腫性嚢胞 気管支原性嚢胞 肺気腫 LVRs その他	

種類	原発性気胸 (注：膿胸を合併している場合は、膿胸で登録してください。)	術式	ブラ切除のみ
			ブラ切除 + 追加処置
			医療材料により被覆 壁側胸膜切除 被覆 + 壁側胸膜切除 その他
	続発性気胸 (注：膿胸を合併している場合は、膿胸で登録してください。 外傷によるものは、胸部外傷に対する手術で登録してください。)	術式	その他
			不明
			ブラ切除のみ
	合併症	ブラ切除 + 追加処置	
医療材料により被覆 壁側胸膜切除 被覆 + 壁側胸膜切除 その他			
胸郭変形	種類	COPD 腫瘍性 Catamenial LAM その他(外傷性を含まない)	
横隔膜ヘルニア	種類	漏斗胸 その他	
胸部外傷に対する手術(呼吸器に対する手術のみ)* 医原性外傷は除く			
その他の呼吸器疾患の手術	種類	先天性 外傷性 その他	
		肺動静脈瘻 肺分画症 術後出血・肺瘻(医原性含む) 乳び胸	
		その他	詳細：

画面：退院情報へ

画面：術後情報_肺移植

術式	脳死片肺移植 脳死両肺移植 生体部分肺移植 生体ドナー手術 脳死ドナー手術
----	---

画面：退院情報へ

画面：術後情報_その他

*この項の生検は開胸または VATS（縦隔鏡を含む）によるものとします。

種類	縦隔鏡単独施行例（リンパ節・腫瘍の生検）		
	びまん性肺疾患などでの胸腔鏡下/開胸肺生検		
	肺門縦隔リンパ節生検/腫瘍生検/胸膜生検		
	その他		詳細：

画面：退院情報へ

再手術	なし	あり
退院日（自院）	_____年 _____月 _____日 退院 転院 長期入院中（翌 3/31 に入院中）	
退院時転帰* （転院先での転帰も含む）	生存	術後 30 日後転帰
	死亡 （転院先での入院継続中の死亡を含む）	生存 死亡 術死（30 日以内） 在院死（31 日以降）
死因	原病死 他癌死 循環器系 肺炎 膿胸（断端瘻なし） 気管支断端瘻（膿胸） 呼吸不全 肺血栓塞栓 間質性肺炎 脳梗塞、脳出血 その他 不明	

*退院時転帰は『長期入院中』を選択時は表示しない。

ステージは以下の通り、自動入力とし編集不可にする。

Nx は N0、Mx は M0 とする。

T	N	M	stage
Tx	N0	M0	潜伏癌
Tis	N0	M0	0
T1a または T1b	N0	M0	A
T2a	N0	M0	B
T1a または T1b	N1	M0	A
T2a	N1	M0	
T2b	N0	M0	
T2b	N1	M0	B
T3	N0	M0	
T1a または T1b	N2	M0	A
T2a または T2b	N2	M0	
T3	N2	M0	
T3	N1	M0	
T4	N0	M0	
T4	N1	M0	
any T	N3	M0	B
T4	N2	M0	
any T	any N	M1a または M1b	

下記のパターンは規約にないので不確定とする。

T0	N0	M0	不確定
T0	N1	M0	不確定
T0	N2	M0	不確定

Tx	N0	M0	不確定
Tx	N1	M0	不確定
Tx	N2	M0	不確定

Tis	N1	M0	不確定
Tis	N2	M0	不確定